

「AI・データサイエンスと現代社会」(2021年度)自己点検・評価レポート

2022年5月16日 AI・データサイエンスセンター組織別評価委員会 承認

1：学内からの視点

No.	項目	自己点検内容	評価
1	プログラムの履修・修得状況、学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は1,119名が履修し、946名が単位修得した(修得率:84.5%)。 ・本プログラム履修者数のKPIは、1年次の履修者数としている。2021年度は250名を目標としていた。実績は全学合わせて418名が1年次に履修をした。 	S
2	学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度、後輩等他の学生への推奨度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの質問項目「この授業の内容を理解し、習得できた」の評価平均は、全体平均(前期5.3、後期5.2)と同じ、或いはほぼ同じ値(前期後期とも5.2)となった。 ・授業アンケートの質問項目「学生が能動的に参加したくなるような授業であった」の評価平均は、全体平均(前期5.1、5.3)と比べて、やや下回る(前期:前期5.0、後期5.1)値となった。 ・後輩等他の学生への推奨度についてのアンケート等は今後対応を検討していく。 	A
3	全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・科目開設初年度より、全学部生を対象として開講している。 ・全ての学部生から履修がなされた。 	S

2：学外からの視点

No.	項目	自己点検内容	評価
4	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度から開講された科目であることから、進路、活躍状況については今後対応していく。 ・大学評価で実施された「外部評価委員会」において、本科目を含む「AI・データサイエンス全学プログラム」について、委員の方より高い関心を得ている。 	B
5	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<ul style="list-style-type: none"> ・5名の講師で実施している本科目は、実務経験のある講師が3名参加している。うち1名の講師はAI・データサイエンス分野の第一線で活躍する実務家であり、実際の業務経験を踏まえた講義をしている。 	A

3：不断の改善・進化に向けた取り組み

No.	項目	自己点検内容	評価
6	<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの質問項目「この授業に対する総合的な満足度について」の評価平均は、全体平均（前期 5.3 後期 5.5）と比べてほぼ同じ値（前期 5.2、後期 5.4）となった。 ・授業アンケートの質問項目「この授業によって、新しい知識の習得、または、自身の能力の高まりや成長につながった」の評価平均は、全体平均（前期 5.6、後期 5.8）と比べてほぼ同じ値（前期 5.5、後期 5.7）となった。 	A
7	<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの質問項目「講義要項（シラバス）に示されていた学習目標や内容と合致していた」の評価平均は、全体平均（前期 5.8、後期 5.9）と比べて同じ（前期：5.8）か、ほぼ同じ値（後期 5.8）となった。 ・授業アンケートの質問項目「担当教員の話し方は聞き取りやすく、理解しやすいものだった」の評価平均は、全体平均（前期 5.5、後期 5.6）と比べてほぼ同じ値（前期 5.3、後期 5.5）となった。 	A

1. 自己点検・評価の目的、方法等について

1-1：自己点検・評価の目的

自己点検・評価の目的：科目「AI・データサイエンスと現代社会」は、AI・データサイエンス全学プログラムの導入教育として位置づけられ、全学部生を対象として開講しています。本センターでは当該科目を対象として、[数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）](#)の認定をめざしており、認定の要件に定められている自己点検・評価活動の実施を目的として、AI・データサイエンスセンターの組織別評価委員会にて評価を実施します。

1-2：自己点検の項目と評価基準について

項目：[「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の創設について（2020年3月数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度検討会議）](#)の3.3.1「認定教育プログラム」の要件（8）質保証（自己点検・評価）に掲げられている「審査の観点」に沿った項目としています。

自己点検内容：別紙資料等にある関連内容を記載しています。

評価：以下の分類に従い評価を行っています。

- S：諸活動は極めて高い水準にある
- A：諸活動は高い水準にある
- B：諸活動は高い水準に至っておらず、不十分な状況にある
- C：諸活動には重大な問題点があり、速やかな改善が求められる
- F：評価不能一判断材料等の不足により、具体的な判断ができない

2. 科目「AI・データサイエンスと現代社会」について

2021年度より、学部間共通科目として全学部の1年次から履修可能な科目として開講しています。履修者数が多いことから、学部毎に前期（対象学部：理工、文、国際経営、国際情報）、後期（法、経、商、総合政策）開講しています。授業は遠隔授業（オンデマンド型）で5名の講師がオムニバス形式で担当しています。

以下省略